

八谷和彦 | Kazuhiko HACHIYA

- 1966 佐賀県出身
 1989 九州芸術工科大学(現・九州大学芸術工学部)画像設計学科卒業
 2010 東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 准教授
 2021 東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 教授

主な個展

- 2021 「秋水とM-02J」無人島プロダクション、東京
 2018 「PetWORKsの仕事と野望 -All about PetWORKs-」スパイラルガーデン、東京
 2013 「OpenSky3.0 -欲しかった飛行機、作ってみた-」3331Arts Chiyoda、東京
 2011 「OpenSky in KIRISHIMA 八谷和彦展」霧島アートの森、鹿児島
 「八谷和彦の見える世界のひろげかた『魔法かもしれない。』」SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ 映像ミュージアム、埼玉
 2010 「八谷和彦《OpenSky》プロジェクト」金沢21世紀美術館、石川
 2008 「OpenSky RollOut」スパイラル、東京
 「メディアラボ第2期展示: 八谷和彦 魔法かもしれない。」日本科学未来館、東京
 2007 「八谷和彦"初"ドローイング展 -手で描いたものしか出しません」無人島プロダクション、東京
 2006 「八谷和彦 -OpenSky 2.0」NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]、東京
 2003 「OPEN SKY 八谷和彦展 - ポストペットからメーヴェまで」熊本市現代美術館、熊本
 1999 「Air Board β - for the Jet Generation」ギャラリーアート倉庫、東京
 1996 「見ることは信じること」広島市現代美術館、広島
 「ラブダブラー」三菱地所アルティウム、福岡
 1995 「ワールドシステム」スパイラル、東京
 1994 「オーヴァーザレインボウ」P3 art and environment、東京
 1993 「インターディコミュニケーション ワンナイト・エキシビジョン」レントゲン藝術研究所、東京

主なグループ展、ワークショップほか

- 2020 「柏飛行場と秋水 - 柏の葉 1945-2020」柏の葉T-SITE、千葉
 「Permeable dimension wall: Taiwan - Japan Comic Aesthetics & Contemporary Art」国立台湾美術館、台中、台湾
 2019 「EAA AirVenture Oshkosh」ウイットマン・リージョナル空港、オシュコシュ、アメリカ(展示とデモフライト)
 「移植」無人島プロダクション、東京
 2018 「三人展-Forward Stroke 明日への眼差し-」佐賀県立美術館、佐賀
 「エキゾニモ×YCAM『メディアアートの輪廻転生』」山口情報芸術センター[YCAM]、山口
 2017 「ジャパノラマ Japanorama 1970年以降の新しい日本のアート」ボンビドゥ・センター・メッス、フランス
 「コレクション展2 死なない命」金沢21世紀美術館、石川
 2016 「EDITIONS++」無人島プロダクション、東京
 2015 「八谷和彦 '視聴覚交換マシン'を体験しよう！」(ワークショップ)豊田市美術館、愛知
 2014 「無人島∞」無人島プロダクション、東京
 「サマースカifesta2014(公開テスト飛行)」たきかわスカイパーク、北海道
 「プレイヤーズ 遊びからはじまるアート展」アーツ前橋、群馬
 「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画 クロニクル1995-」東京都現代美術館、東京
 2013 「日経アートプロジェクト」スペーススニオ アートギャラリー、日本経済新聞社東京本社、東京
 「オープンスペース2013」NTTインターコミュニケーションセンター[ICC]、東京
 2011 「Trans-Cool TOKYO Contemporary Japanese Art from MOT Collection」台北市立美術館、台北、台湾
 2010 「Trans-Cool TOKYO Contemporary Japanese Art from MOT Collection」シンガポール美術館(8Q)、シンガポール
 「サイバーアーツジャパン-アルスエレクトロニカの30年」東京都現代美術館、東京
 「移動 ~無人島 in 高円寺での最初で最後のグループ展~」無人島プロダクション、東京
 2009 「ヨコハマ国際映像祭2009: CREAM」新港ピア(横浜)、神奈川県
 「アルスエレクトロニカ2009 Device Art展」Ars Electronica Center、リンツ、オーストリア
 「MOTコレクション 夏の遊び場-しりとり、ままと、なぞなぞ、ぶらんこ」東京都現代美術館、東京
 「どろどろ、どろん 異界をめぐるアジアの現代美術」広島市現代美術館、広島
 2008 「コレクション展2 他のお客様の迷惑となりますので、展示室ではお静かにご鑑賞ください。」広島市現代美術館、広島
 「金沢アートプラットフォーム2008 -自分たちの生きる場所を自分たちでつくるために-」金沢市民芸術村、石川
 「第3回 南京トリエンナーレ」南京、中国
 「MOT コレクション: サバイバル・アクション」東京都現代美術館、東京
 「KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia」Jogja National Museum、ジョグジャカルタ、インドネシア
 2007 「豊田市美術館 夏のワークショップ '視聴覚交換マシン'を体験しよう！」(ワークショップ)豊田市美術館、愛知
 「MOTコレクション」東京都現代美術館、東京
 「FEEDBACK」LABoral Art and Industrial Creation Centre、ヒホン、スペイン

- 2006 「GUNDAM—来たるべき未来のために」京都国際マンガミュージアム、京都
「文化庁メディア芸術祭10周年企画展：日本の表現力」国立新美術館、東京
「デジタル遊園地—ネットワーク・アートの未来」長崎県美術館、長崎
「のりものワールド」名古屋市科学館、愛知
「GUNDAM—来たるべき未来のために」せんだいメディアテーク、宮城(高浜市やきものの里かわら美術館 愛知、札幌
芸術の森美術館 北海道へ巡回)
「コレクション展 I」金沢21世紀美術館、石川
- 2005 「SKY-HIGH(スカイ・ハイ)」キリンプラザ大阪、大阪
「GUNDAM—来たるべき未来のために」サントリーミュージアム天保山、大阪(上野の森美術館 東京へ巡回)
「愛・地球博」グローバルハウス、愛知
- 2004 「Climax ? the Highlight of Ars Electronica」国立台湾美術館、台中、台湾
「ミッション：フロンティア—知覚の宇宙へ」東京都写真美術館、東京
「KITTY EX.(キティ・エックス)」森美術館、東京/ラフォーレミュージアム原宿、東京(ほか国内7カ所巡回)
「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望2004」森美術館、東京
- 2003 「ひととロボット—電脳空間の夢想」国際交流基金パリ日本文化会館、パリ、フランス
「サイバー・アジア—メディア・アートの近未来形」広島市現代美術館、広島
- 2002 「映像体験ミュージアム—イマジネーションの未来へ」東京都写真美術館、東京(ほか国内5カ所巡回)
「JAM：東京—ロンドン」東京オペラシティアートギャラリー、東京
- 2001 「エゴフーガル—第7回イスタンブール・ビエンナーレ」イスタンブール、トルコ
「JAM：Tokyo-London」バービカン・ギャラリー、ロンドン、イギリス
- 2000 「ギフト・オブ・ホープ—21世紀アーティストの冒険」東京都現代美術館、東京
「milk：2005年愛知万博用公開実験」外苑前路上、東京
- 1999 「時の変化」ボン美術館、ボン、ドイツ
「ファンシー・ダンス—1990年以降の現代日本美術」アートソング・ミュージアム、慶州(アートソング・センター、ソウル、韓国へ巡回)
「ファースト・ステップス—日本の新進作家(フィリップ モリス アート アワード1998)」グレイ・アート・ギャラリー、ニューヨーク、アメリカ
- 1998 「大分国民文化祭」B-con Plaza、大分
「Art & Edition - électroniques au japon」レオナルド・ダ・ヴィンチ大学、パリ、フランス
- 1997 「第7回ふくいビエンナーレ—メディアと身体」福井市美術館、福井
「PostPet.EX」ナディッフ、東京
「Cyber '97」ベレム文化センター、リスボン、ポルトガル
「ドリーム・オブ・イグジステンズ—日本の若手作家」キシュツェリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
「EXIT」クレティユ美術館、クレティユ、フランス
- 1996 「デ・ジェンダリズム—回帰する身体」世田谷美術館、東京
「大アート展」ラフォーレミュージアム原宿、東京/天保山現代館、大阪
「アートシーン90-96—水戸芸術館が目撃した現代美術」水戸芸術館現代美術センター、茨城
「アートは楽しい7 IN/OUT」ハラミュージアムアーク、群馬
「On Camp / Off Base」東京ビッグサイト、東京
「美術×∞=◎展」サムミュージアム、大阪
- 1995 「New Asian Art Show 1995」キリンプラザ大阪、大阪/国際交流フォーラム、東京
「プロジェクト「メガ日記」ICNet、インターネット、ニフティサーブ
「ハチヤ博士の実験塔」(ワークショップ) 広島市現代美術館、広島
「TRANS IMAGE—視覚で遊ぶ夢の映像装置展」タワーギャラリー横浜、神奈川
「Photogenetics」(ワークショップ) 東京都写真美術館、東京
- 1994 「'94 北京国際交換芸術祭」首都師範大学美術館、北京、中国
「こどものためのワークショップ」(ワークショップ) 霊山子供の村、福島
「IZUMIWAKU Project」和泉中学校、東京
「なすび画廊」早稲田松竹、東京/和泉中学校、東京/メモリーズギャラリー、愛知/ミュージアム・シティ・天神、福岡
「新宿少年アート」新宿路上、東京
- 1993 「COM-ART Festival」水原、韓国
- 1992 「第3回ビデオ・テレビ・フェスティバル」スパイラル、東京
「ビデオアート以後のビデオアート」町田市立国際版画美術館、東京

キュレーション、プロデュース

- 2011 「ガイガーカウンターミーティング」3331 Arts Chiyoda、東京
- 2010 「日本のデザイン2010 トゥエンティ・テン」東京ミッドタウン・デザインハブ、東京
「エクストリームDIYワークショップ『エクストリーム・エクスペリメント』」中川基/荻野剛/鈴木ヒロシ
3331 Arts Chiyoda、東京
「空フェス！～みんなで羽ばたき飛行機を飛ばそう」3331 Arts Chiyoda、東京

主な受賞歴

- 2002 「The Hugo Boss Prize 2002」
1998 「アルス・エレクトロニカ賞」ネット部門 準グランプリ(《ポストペット》)
「フィリップ モリス アート アワード 1998」(「エアボード」プロジェクト)
1997 「'97 マルチメディアグランプリ」ネットワーク部門最優秀賞・通産大臣賞(《ポストペット》)
「アルス・エレクトロニカ賞」インタラクティブ・アート部門 入賞(《見ることは信じること》)
1996 「アルス・エレクトロニカ賞」インタラクティブ・アート部門 入賞(《視聴覚交換マシン》)
1995 「第4回ジャパンアートスカラシップ」グランプリ(《ワールドシステム》)
「名古屋国際ビエンナーレ アーテック '95」入選(《視聴覚交換マシン》)
1993 「'93 マルチメディアグランプリ」展示映像部門 奨励賞

パブリックコレクション

東京都現代美術館
金沢21世紀美術館
豊田市美術館
広島市現代美術館
熊本市現代美術館